

〔(公) 病害虫防除試験 (農林水産部食料安全課所管)〕  
世界自然遺産登録地に適した侵入病害虫等管理技術の検討  
～小笠原 (父島, 母島) 島外からの農業者の苗導入実態調査～  
大林隆司・藤本周一\*  
(小笠原農セ・\*営農研修所)

---

【要 約】父島, 母島の農業者の半数が島外から苗を導入しており, 沖縄などからが多い。果樹, 観葉植物以外に野菜苗も導入されている。今後も半数にマンゴーなどの導入予定がある。半数が病害虫対策処理の必要性を認めつつも, 苗への影響などを懸念している。

---

【目 的】

小笠原では世界自然遺産登録の 2011 年以降も, 毎年新たな害虫 (8 種: 2011 年 2 種, 2012 年 2 種, 2013 年 1 種, 2014 年 3 種) が記録されている。侵入要因は, 島外からの苗の導入に伴う場合や自然要因 (台風など) が挙げられるが, 前者については島外からどのような苗が・どこから・どのくらいの量が入ってきているのか, きちんと把握されていない。農業者にアンケート調査を実施することでこれらを把握し, 今後の対策に役立つ。

【方 法】

アンケートは 6 つの質問 (1. 2011 年 1 月以降の島外からの苗の導入の有無, 2. 導入した苗の品目・大きさ・量・導入時期・導入元, 3. 今後の導入の意志の有無, 4. 導入予定の苗の品目・大きさ・量・導入元, 5. 導入苗への病害虫対策処理の是非, 6. 病害虫対策処理が不要と思う理由) からなり, 無記名とした。父島は 2014 年 11 月 18～26 日に配布し, 11 月 28 日まで回収, 母島は同年 11 月 14～25 日に配布, 11 月 28 日まで回収した。

【成果の概要】

1. アンケートの回収数/配布数 (回収率) は, 父島が 10/11 (90.9%), 母島が 16/30 (53.3%) であった。なお, 配布数はほとんどの農業者を網羅している。
2. 島外からの苗の導入の有無については, 父島・母島ともに半数以上があると回答し, 母島の方が割合が高かった (表 1)。
3. 島外から導入した苗の品目・量・導入時期・導入元については, 品目は様々であったが, 父島・母島ともマンゴーが最も多く, 母島では半分以上を占めた。また, 果樹・観葉植物以外にも, 野菜類の苗も導入されていた。量は数十株単位が多く, 導入元は父島は大阪, 京都, 沖縄が, 母島は沖縄, 東京が多く, 他に三宅島や母島 (父島へ) もあった (表 2)。導入時期は 2011 年 1 月以降, 途切れることなく続いていた (結果省略)。
4. 今後の島外からの苗の導入予定の有無については, 父島・母島ともに半数があると回答し (表 3), 今後, 島外から導入予定の苗の品目・導入元については, 種類はハーブ類やマンゴー, ライチが多く, 量は数十株単位までが多く, 導入元は未定が多かった (表 4)。
5. 導入苗への病害虫対策処理の是非については, おおむね半数が「すべきと思う」と回答し, 「思わない」理由としては, 苗への影響の懸念とコストが多かった (表 5, 6)。
6. まとめ: 現時点での農業者の島外からの苗の導入実態が明らかになった。島外からの苗は農業者以外も導入している可能性があり, 関係機関による調査が望まれる。今後も定期的な調査の実施と, 苗への影響が無い病害虫対策処理の開発が必要である。

表1 島外からの苗の導入の有無 (2011年1月以降)

島名 (調査人数)	導入有り (%)	導入無し (%)
父島 (10)	5 (50.0)	5 (50.0)
母島 (16)	9 (56.2)	7 (43.8)
父島+母島 (26)	14 (53.8)	12 (46.2)

表2 島外から導入した苗の品目・導入元 (2011年1月～2014年11月)

島名 (記入品目数)	品目 (導入件数/合計株数 <sup>a)</sup> )	導入元 (導入件数)
父島 (14)	マンゴー (2/17~18), ネギ (2/140), クブアス (1/?), アーモンド (1/5), アテモヤ (1/3), みょうが (1/10), らっきょう (1/100), パパイア (1/5), スイカ (1/20), メロン (1/10), ナス (1/20), ピーマン (1/15)	大阪 (7), 京都・沖縄 <sup>b</sup> (各2), 東京・母島・栃木 (各1)
母島 (15)	マンゴー (8/180 <sup>c</sup> ), アテモヤ (2/15), イチゴ (1/?), リュウガン (1/2), アオサング (1/1), ラン類 (1/?), 観葉植物 (1/?)	沖縄 <sup>b</sup> (8), 東京 (5), 三宅島 (2)

a) ?は株数不明。

b) 宮古島も含む (父島: 1, 母島: 2)。

c) 2011年: 40株, 2012年: 90株, 2013年: 40株, 2014年: 10株。

表3 今後の島外からの苗の導入予定の有無

島名 (調査人数)	導入予定有り (%)	導入予定無し (%) <sup>a</sup>
父島 (10)	5 (50.0)	5 (50.0)
母島 (16)	8 (50.0)	8 (50.0)
父島+母島 (26)	13 (50.0)	13 (50.0)

a) 未回答も含む (母島で4名)。

表4 今後の島外から導入予定の苗の品目・導入元

島名 (記入品目数)	品目 (導入予定件数/合計株数 <sup>a)</sup> )	導入元 (導入予定件数)
父島 (7)	ハーブ (2/?), マンゴー (1/10~20), スイカ (1/20), メロン (1/20), ナス (1/20), 未定 (1/?)	大阪・未定 (各3), 東京 (1)
母島 (10)	ライチ (3/20~25), マンゴー (2/20~), 未定 (2/?), アテモヤ (1/5~10), ラン類 (1/?), 観葉植物 (1/?)	未定 (7), 東京 (2), 沖縄 (1)

a) ?は株数不明。

表5 今後の島外からの導入苗への病虫害対策処理の是非

島名 (調査人数)	処理すべきと思う (%)	処理すべきと思わない (%)
父島 (10)	7 (70.0)	3 (30.0)
母島 (16)	7 (43.8)	9 (56.2) <sup>a</sup>
父島+母島 (26)	14 (53.8)	12 (46.2)

a) 未回答・「不明」という回答も含む (各4名・1名)。

表6 導入苗への病虫害対策処理をすべきと思わない理由 (複数回答可)

島名 (思わない人数)	理由 (回答数)
父島 (3)	面倒 (0), コスト (0), 苗への影響が不安 (3), その他 (1)
母島 (9 <sup>a</sup> )	面倒 (0), コスト (2), 苗への影響が不安 (2), その他 (4)

a) 未回答・「不明」という回答も含む (各4名・1名)。